

2010年 9月2日(木) - 10月31日(日)

会期中無休 但し、この期間は常設展示の萬古の名陶は休みとなる

開館時間：9時30分～17時30分 (入館は17時まで)

入館料：一般 1,000円 (4枚セット券 3,000円)

大学生 800円 / 高校生 500円 / 中学生以下無料

後援：NHK津放送局、三重テレビ放送、中日新聞社、
読売新聞社、伊勢新聞社

● 関連イベント

9月12日(日) 14時～、10月3日(日) 14時～

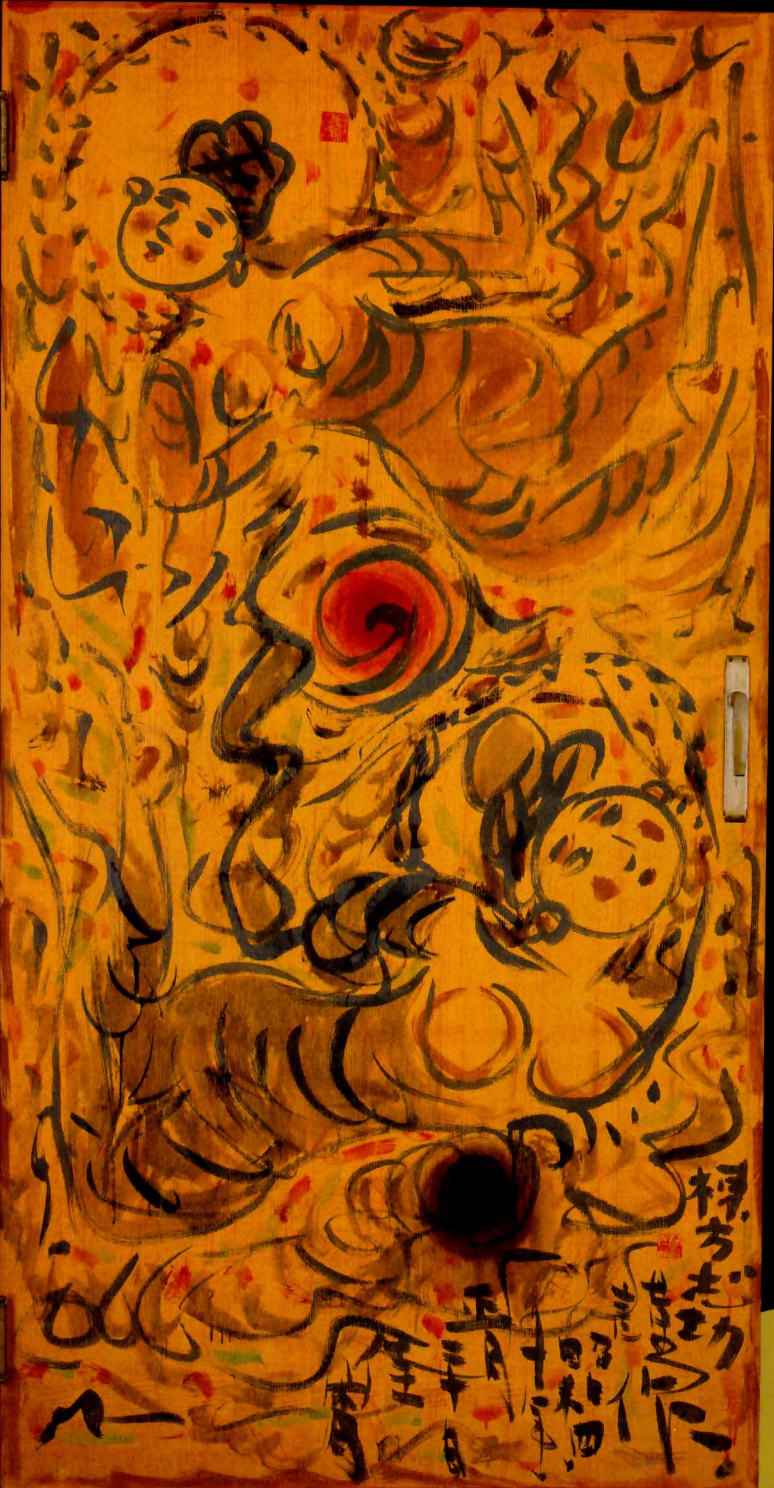
当館学芸員による解説

木版画の巨匠

未発表肉筆画展

新収蔵記念

未発表肉筆画展



「天女図（板扉）」

paramitamuseum

財団法人岡田文化財団

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

http://www.paramitamuseum.com E-mail=office@paramitamuseum.com

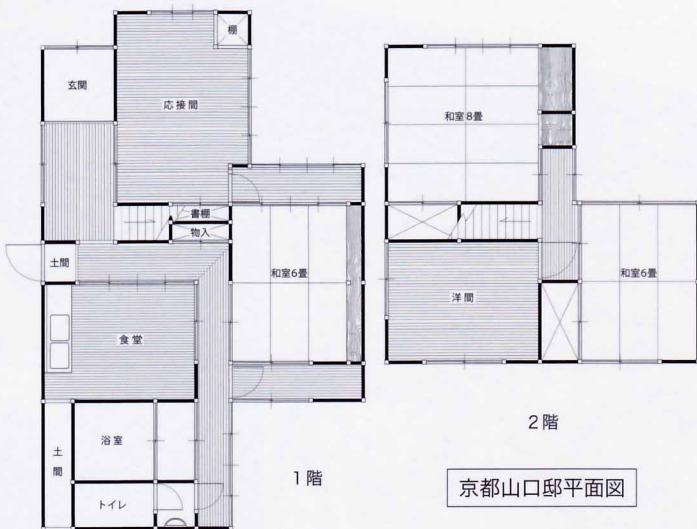
明治三十六(一九〇三)年、青森に生まれた棟方志功は、日本の版画界を代表する作家として活躍しました。その作品は日本の伝統芸術である板目木版画の持つ大画面の特性を生かした独自の表現的作風で世界的に高い評価を受けています。しかし木版画に見られる棟方の自由奔放な刀さばきとともに、筆遣いの妙を示す肉筆画が多数描かれたことは、あまり知られていません。今回は初公開となる新収蔵の京都山口市に残された肉筆装飾画を建物の資料とともに展示し、棟方の建築装飾の華麗な世界に迫ります。また当館所蔵の「二菩薩釈迦十大弟子図」と新収蔵の改刻前「二菩薩図」を合わせ、改刻の前後を一堂に展示します。



「玫瑰図(横)」



「二菩薩図(改刻前)」



京都山口市邸平面図



「二菩薩釈迦十大弟子図(菩薩改刻後)」



「墨書乾坤無妙(横)」



「牡丹図(衝立)」

次回展覧会予告

坪井明日香 陶芸展 2010年 11月3日(祝・水)~12月26日(日)

昭和7年、大阪に生まれた坪井明日香は日本の感性を現代陶芸に取り入れた作品で、海外での評価が高い作家です。また彼女の呼びかけにより、昭和32年7名の女性によって、京都で我が国初の女性陶芸家集団「女流陶芸」が結成されています。作陶歴50年以上にわたる坪井明日香の足跡をたどるとともに、現在も旺盛に制作活動に励む作者の最新作を展示します。



「遠ざかる残像」



MAPCODE 566359095

paramitamuseum 財団法人岡田文化財団
〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077
http://www.paramitamuseum.com E-mail=office@paramitamuseum.com

交通機関

■お車をご利用の場合=東名阪四日市IC.で降りて国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。無料駐車場あり(普通車100台、大型/バス駐車可)
■電車をご利用の場合=近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車、西へ300m。全館バリアフリー、車椅子常備